

# NSわくモル

## サッシ廻り充てん用プレミックスモルタル

NSわくモルは、サッシ開口部材とコンクリート・ALC等躯体との隙間充てん用として、充てん性、防水性、断熱性、ずれ・だれ抵抗性に優れた防水剤既調合の軽量プレミックスモルタルです。

### 特長

- 軽量で充てん性に優れ、施工効率が向上します。
- ずれ・だれが少なく、保形性に優れています。
- 普通モルタルに比べ収縮率が小さいため、寸法安定性に優れ、ひび割れを抑制します。
- 防水剤既調合なので、普通モルタルに比べ高い防水性能を発揮します。
- 断熱性に優れ、結露防止に有効です。
- 吸入、吐出がスムーズなので、市販の充てん器具で作業が楽におこなえます。

### 標準仕様

荷姿	適用部位	標準調合	練り上がり量
25kg / 袋	RC造・SRC造・鉄骨ALC造のサッシ廻り等 (サッシと躯体)の隙間充てん	清水 約6ℓ	約21ℓ

上記標準仕様以外での施工による不具合につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。

### 性能

試験項目	試験結果	普通セメントモルタル (セメント:砂=1.3) ※ 防水剤 2%調合	試験方法
長さ変化率 (%)	0.097	0.110	JIS A 6916
吸水量 (g)	44.3	51.0	JIS A 1404
透水量 (g)	7.7	13.3	
熱伝導率 (W/mk)	0.64	1.24	JIS A 1412

※ セメント質量比

※ 上記試験結果は、JIS等の規格に定められた条件下で得られた測定値です。

日本化成(株) 中央研究所

## 下地の清掃

下地のぜい弱層・レタンス・油分・汚れ等をワイヤブラシ等で除去し、清掃してください。  
 \*浮きの原因となりますので、下地の清掃は入念におこなってください。  
 \*下地にひび割れや著しい欠損がある場合は、事前に処理をしてください。

## 下地処理 (吸水調整材塗布)

NS ハイフレックス HF-1000 の 5 倍希釈液を刷毛等でむらなく塗布してください。  
 \*吸水の激しい下地 (ALC) の場合、ドライアウトの原因となりますので、2回むらなく塗布してください。  
 \*塗布直後の充てんは、ずれ・だれの原因となりますので、塗布後の乾燥期間は夏季 1～2 時間、  
 冬季 3～5 時間おいてください。

## 練混ぜ

NS わくモル 2.5kg に水約 6ℓ を加え、モルタルミキサーやハンドミキサー等でダマが残らないように十分に練り混ぜてください。  
 \*強度低下の原因となりますので、標準調合を厳守してください。加水後の材料は夏季 40 分以内、冬季 60 分以内を使い切り、練足し、水を加えての練戻しは避けてください。

## 充てん

練混ぜた NS わくモルの中に、充てん器の筒先を挿入し吸入してください。  
 吸入した NS わくモルをサッシ廻りの空隙部に隙間がないように充てんしてください。  
 充てん後、金ごて仕上げ、刷毛引き等をおこなってください。  
 \*充てん幅・奥行きが大きい場合は、2回詰めするなどして隙間がないように適切におこなってください。  
 \*充てん後にはみ出したモルタルは、コテなどで取り除いてください。また、サッシに付着した場合は水刷毛などで取り除いてください。

## 養生

充てん後、次工程の施工までの養生は夏季 7 日、冬季 14 日以上おこなってください。  
 \*急乾燥、通風がある場合はひび割れ、表面の強度不足の原因となりますのでシート掛け等の養生をおこなってください。  
 \*初期の雨掛かり等は強度不足の原因となりますのでシート掛け等の養生をおこなってください。



### 使用上の注意

- 気温が 3℃ 以下になる場合には、施工を避けてください。
- 本品は既調合品です。指定材料以外の他の材料の混入は避けてください。
- 練混ぜに使用する水は、水道水等の清水を使用してください。
- 使用後の器具は速やかに水で洗浄してください。
- 製品は製造年月日を確認し、3ヶ月以内を目安に使用してください。

本カタログに記載された内容(データ・仕様・施工法等)は、作成時点で入手できた情報・データに基づいており、実際の現場での結果を確実に保証するものではありません。また、本カタログの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。ご使用に際しては、適切な使用方法と安全対策に注意し、お取り扱いください。